



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 中 谷 佳 正
幹 事 浅 井 晃 会 報 委 員 長 宮 田 正 人

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2445

2019-12-13

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

本日の例会) 12月13日(第2例会)

- 卓話「大阪城南RCの東北震災後の被災地支援」
大阪城南 RC の東北被災地支援について、
写真を中心に支援活動を説明いたします。
三木敏裕会員

- 次年度理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ) 12月20日(第3例会)

- 例会時間・場所変更
例 会 17:30 ~ 17:45
年末家族会 18:00 ~ 20:40
シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
- 食膳 <和洋折衷>

次々週のお知らせ) 12月27日(第4例会)

休 会

先週の記事) 12月6日(第1例会)

- 出席報告
出席会員 34 名 (内免除会員 8 名)
会員総数 44 名 (同上 15 名)
ゲスト 1 名
ビジター 1 名
計 36 名
ホームクラブ出席率91.89%
11月22日(第4例会)補正出席率100%(MU3名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)
伴井敬司 (大阪難波)
李 頌雅 (米山奨学生)
12月4日(水)RAC例会出席者(敬称略)
西谷 岡部(泰)

◆会長の時間◆

地区の公共イメージ向上セミナーで「SDGsはコミュニケーションツール」と題して講演がありましたのでご紹介したいと思います。SDGs(エスディーゼズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(なりたい姿)とゴールを達成するために169のターゲット(具体的な達成基準)が設定されています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。SDGsは、貧困や飢餓から環境問題、経済成長やジェンダー、平等まで幅広い課題が網羅されています。現在、企業や自治体等でSDGsを取り入れた活動が行われています。ロータリー活動におきましても6つの重点分野など重なる部分が多くありますのでSDGsを通して各方面と連携をしていく必要があると思います。

◆年次総会◆

クラブ細則に基づき34名の出席を得て12月6日に年次総会が開催されました。

議案①次々年度会長及び次年度理事選挙

いずれも一般会員からの推薦はなかったため、指名委員会の選考による候補者について投票に代わり起立多数により決することとなった。その結果、出席者全員が起立し、指名委員会選考の候補者が当選した。従って次々年度会長は小林正啓会員、次年度理事は村上泰啓、尾崎敬則、三宅善太郎、濱田由弘、山本英樹、松田振興各会員となりました。

議案②50周年記念事業の京都大学iPS細胞研究所への今年度分の寄付援助は、下期臨時会費1万円(計44万円)と社会奉仕委員会から56万円を拠出し合計100万円とする案に出席者全員が起立し可決されました。

疫病予防と治療月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 幹事報告 ◆

- ①今月のロータリーレートは、1\$=¥108です。
- ②本日、例会に先立って11:30から開催されました理事会に於いて、承認されました事柄の一部を報告いたします。

卓話の変更

12月13日 予定の今井会員は、11月15日に済み
三木会員に卓話者変更

1月31日 予定の泉会員は、11月22日に済み
「夢の電池、全固体電池について」という
テーマで、大阪府立大学 辰巳 砂学長
に卓話者変更

以上が理事会で承認されました。

- ③地区から

「米山クリスマスパーティー2019」の案内が届いております。

西谷・岡部(倫)両カウンセラーおよび中谷会長に
回付いたしております。

◆ 委員会報告 ◆

R財団・米山奨学委員会 山口 寛委員長
日頃は、当委員会の事業活動に深いご理解を頂き
厚く御礼申し上げます。早速ですが、10月・11月度
に頂戴いたしました皆さんのご寄付についてご披露
いたします。井上会員、永井会員、南賀会員、中本
会員、佐々木会員、中尾会員、以上6名の方々です。
有り難うございました。先月第4例会時には今年度
に入り未だ頂戴できていない会員に対し、役目柄、
諄いようでもお願いの書付をポストさせて頂きまし
た、よろしくご理解をお願いします。

卓話

12月6日 <第1例会>

「産業医として真の健康を考える」

内科医 浅井 晃会員



産業医は労働者の目線に立って
その健康に配慮する事を専らとす
る職にあり、健康教育、健康チェッ
ク、早期対応、早期治療を業務とし
ます。疾病予防としての定期健康
診断以外に、近年メンタルヘルスチェックが追加さ
れました。2009年にうつ病が原因の自殺者(6,949
人)が、交通事故死(4,914人)を上回った現実があり
ます。これを背景として、2015年12月からメンタル
ヘルスチェックが義務化されました。労災のメンタル

ヘルス不調者は件数が増加し、事業者が損害賠償
責任を問われる事例も発生するに至って、企業経営
のリスク要因となっています。産業医として高ストレ
ス者と面談をした結果、原因のほとんど100%が
ハラスメントであることに気づきました。

ハラスメントとは、被害者は別として加害者は勿論、
放置する第三者にも罪があります。ハラスメントを放
置している社会はそれ自体が病的状態にあり、結果
として構成メンバーの脱落を来し、社会構造の崩
壊、即ち「死」を迎えることとなります。ではこの「病」
の治療に誰が手をつけるのでしょうか。

社会の健康度を上げるためには、互助精神のもと
個々の尊厳を尊重する「ルール」ではなく、「モラル」
が求められると考えます。個々の尊い生命を守り合っ
て、強い社会を創造する全員の力が必要です。個々の
健康度向上は基本ですから、私個人としては一産
業医として、これ迄どおりの活動を続けます。ただ、
一人の力は誠に微力です。

1948年の国連憲章前文にある定義の様に、「健康」
すなわち身体的・精神的・社会的に完全に良好な状
態をめざして、社会全体の「回復力」を引き出す事が
肝要であると思います。真の健康を考える時、ロータ
リークラブとして行動すべき「社会奉仕」が見えてく
るように思います。

にこにこ箱

12月6日(第1例会)

- ニコニコできる健康をめざして、久しぶりの卓話です。よろしくをお願いします。

浅井会員

- 今日で、入会23年の例会出席が終わり、次回から24年目になります。お世話になりありがとうございます。

尾崎(敬)会員

- 昨日、阪神タイガースチャリティコンペに参加しました。中西清起氏がドラコンを取っていました。私の100ヤード先でした。

村上(泰)会員

- その他、お祝い15件

(編集担当 岩永・石濱)

会員増強にご協力を!!